

第2回酒田駅周辺整備調整会議概要録

- 1 日 時 平成29年3月26日（日）午前10時～午前11時30分
- 2 場 所 酒田市役所 3階 第2委員会室
- 3 出席者 委 員：倉田委員、高谷委員、平澤委員、大野委員、中川委員、
田中委員、大石委員（欠席なし）
委員以外：株式会社RIA、株式会社図書館総合研究所
- 4 内 容 以下のとおり

（1）酒田駅周辺整備事業の施設計画について

- 従来の広場は、形式的なエントランスでしかなかったが、広場の配置を変えたことで広場に賑わいが生まれるような場所になった。全体的に魅力が増した。
- 広場に向かって建物側から賑わいが生まれるような機能配置になった。
- 従来は、道路で区切られていたため、駐車場や住宅に開発の一体感が感じられない状況であったが、住宅からも広場に通じる通路が取れたことで裏側という感じがなくなった。
- 駅からの視認性については、ライブラリーセンターを前に配置し、屋根なども工夫することで駅に対する表情が良くなった。
- 広場に向かって庇を設けることで特徴的な感じになると思うが、さらに人の動きに合わせた見せ方を工夫することによって、アーバンデザイン的に良くなると思う。
- ライブラリーセンターから鳥海山の眺望を考慮したところがよくなった。
- ライブラリーセンターの施設内の配置計画がこれからであるため、今後、広場やロビーに向かっての見え方なども含めて詳細を詰めていく。
- 公共施設である図書館、カフェ、観光情報センターは、分けしない方が賑やかさは出てくるので、今後、詳細を検討していく。
- 施設の運営体制面についても市民満足度をどうやって上げていくのか協議をしていく必要がある。
- 施設の中身を誰がどういう形で運営していくのかということが重要であるため、ブロックプランの進捗とともに店舗スペースに出店される方の検討をしていく。
- 施行者としては、商業店舗の出店者については、地元で頑張っている事業者を第一に考えていく。
- 商業店舗は出店候補者との協議を詰めながら、事業性の検証を進め、最終的にどのような

な配置とするか固めていく。

- 住宅から鳥海山を見ることはできないか。(住宅は、南側の採光を優先するため、鳥海山が見えない角度となる。)
- 住宅をもっと高層にすることで市内の既存マンションとは違う雰囲気を出すことはできないか。(試算をしたが、販売価格が上がるため対応できない。)
- 今は、ブロックプランであるが、事業費やランニングコストを試算しながら検討をしていく必要がある。
- 駅前の特徴である交通結節機能を強化するため、配置だけでなく、管理運営上の課題もクリアしながら、バス利用者に対する利便性の向上策を検討していく。
- 全体の配置については、説明いただいた内容で進めていく方針とする。

(2) 今後のスケジュールについて

- 8月にコストを含めた最後の取りまとめを行う。
- 変更後の全体イメージの公表は6月中を目標に取り組む。